

# 駿河台大学同窓会報

第15号

発行 駿河台大学同窓会事務局  
〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698  
☎(042)972-1101 ホームページ  
<http://www.surugadai.ac.jp/dousou/index.html>

## 明治記念館の新緑の中で

### 平成20年度同窓会総会実施報告



総会風景

去る5月17日(土)、平成20年度同窓会総会が開催されました。今年度も、明治記念館(港区元赤坂)の丹頂の間、鳳凰の間をお借りして、新緑の青葉が美しい日本庭園を眺めながらの開催となりました。

去る5月17日(土)、平成20年度同窓会総会が開催されました。今年度も、明治記念館(港区元赤坂)の丹頂の間、鳳凰の間をお借りして、新緑の青葉が美しい日本庭園を眺めながらの開催となりました。



懇親会後

- 1. 平成19年度事業及び収支決算報告について
- 2. 平成19年度監査報告について
- 3. 平成20年度事業計画及び収支予算案について
- 4. 同窓会奨学金の貸与について(追認事項)
- 5. 会則の一部改正について
- 6. 平成20年度役員について

一期生の白石直哉氏(平成3年法学部卒)の司会のもと、副会長の桐生岳氏(平成5年法学部卒)の乾杯のご発声で始まりました。懇親会の余興では、現役学生のアカペラサークル「acp(エイシーピー)」から選ばれた11名が駆けつけ、爽やかな歌声を披露しました。

### 成田憲彦学長からの挨拶



ご紹介をいただきました学長の成田でございます。昨年、就任早々でございますが、同窓会総会に初めて出させていただきました。毎年、緑葉まる大変良い季節に同窓会が開催されるわけで、今年も参加をさせていただくのを楽しみにしております。

本年度も、皆様方それぞれの活躍、また本学に対する目頃の支援に深く感謝申し上げます。駿河台大学の最近の状況をご報告させていただきます。本学の状況ですが、ご承知の通り私学に対する環境は、大変厳しくなっておりますが、駿河台大学、幸い今年度入試でも定員を確保いたしました。教育内容等の充実をさせて、学生・教職員一丸となって頑張っているところでございます。

二つ目に紹介するニュースは、現在、駿河台大学がテレビの人気ドラマの舞台になっていること。4チャンネルで土曜日の9時から9時54分まで放映されている、仲間由起恵さん主演の「ごせん」という人気ドラマです。これまで私はこのドラマのことを知りませんでした。小さいときに両親が交通事故で亡くなり、極度の祖父に育てられた高校の熱血教師が、悲らしい高校の3年D組の生徒たちの担任となり、初めは全く相手とされなかったのに、だんだん信頼を勝ち取り、彼らとの関係を築いていくというドラマです。

今回の第3シリーズでは、駿河台大学がドラマの舞台である赤鯉学院(高専)学校になっており、春休みからロケをしています。私も、たまたま目撃しました。講義棟がその高校のメインの校舎になっており、ロケのときには、講義棟前にアーチ形の門を持って置いて置いています。そのほかにもキャンパスの中がいろいろなロケに使われています。第3話ではグラウンドが随分使われていました。

4月からいろいろなテレビドラマが始まりましたが、仲間由起恵の「ごせん」の視聴率は、ぶっちぎりで第1位です。26.8%の視聴率を取ったということですが、本誌も貢献したと思います。

私は、テレビはニュースを含めて報道系スポーツしか見ませんでしたが、最近「ごせん」を非常に楽しみに見ています。もう一つ、NHKの「篤姫」も見ています。最近ドラマに少しはまっています。「ごせん」は今日まで放送されているので、見たいです。今日は第5話で「一人で生きてきた思ひな」という非常に感動的なタイトルが付いています。見ていると、本学が舞台になっているという意味の喜びとともに、キャラクターがよく、だんだん私も熱血教師の影を写し、「私も学生に少し熱血の当たろうかな」と考えています。皆様にも楽しんで見てもらいたいと思います。

三つ目に紹介するニュースは、受け取り方によってはグッドニュースですが、もししたらパッドニュースと受け取る方もいるかも知れませんが、来年4月、駿河台大学は、現在の4学部体制から5学部体制に改組になります。「一人」についてはパッドニュースという方もいらっしゃるかも知れませんが、学部の名称が少し変わるからです。法学部・経済学部は、そのままですが、文化情報学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。

文化情報学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。現代文化学部は「メディア情報学部」という名前に変更になります。

現代文化学部からは、心理学が独立して心理学部になり、従来の比較文化学を比較文化コース、現代文化情報学部から移る文化情報コースを現代文化学部に移すことになりました。また、各学部の体育の先生が現代文化学部に移籍になり、「比較文化コース」「観光ホスピタリティコース」「スポーツ文化コース」というかたちで構成されます。

普通、改組をするときには新たに監査認可申請をし、審査を受けますが、一定の条件を満たす場合には、届出だけで改組ができる手続きがあります。その届け出設置の手續きで済むことになり、既に届け出を出して受理されたので、来年4月から学部体制が変わります。

また、心理学を独立した学部にするのとセットにして、心理学の大学院を設けます。これは、心理学部の卒業生が大学院に進み、臨床心理士の受験資格が取れるようになるためです。

駿河台大学は、年々進化を遂げています。大学としても皆様の期待にこたえるように、充実・強化に努めていきますので、同窓生の皆様には

今後ともよろしく、ご挨拶のほどをお願いします。駿河台大学の最近の話題を紹介し、私のあいつに代えさせていただきます。どうもありがとうございます。 ※矢澤一輝君は、この日、見事に優勝し、北京オリンピックの切符を手に入れました。関連記事を第4面に掲載。



同窓会長の富岡です。本日はお忙しい中、皆様お集まりいただき、ありがとうございます。昨年の総会には、初めて学長に最初から最後まで、すべて出席してもらいました。同窓会として、学長が出席している中、年次の業務の報告や議論がしっかりと行なわれ、改めたいと思います。

今、駿河台大学は、来年から5学部体制になり、これから進化するために、変わらなければいけないという話が学長からありましたが、まさに、私がお話ししたと思っていたことと同じです。

私事で大変恐縮ですが、今年、大学を卒業し、国家公務員試験(受かつて役所に入ってきた、いわゆる新社会人)が、私の部下として業務に就きました。初めて社会人になり、当然いろいろとわからないことが多いです。非常にまじめで本心から、質問を聞いたり、先週「おつと質問があるんですが」と言ってきました。質問を聞いたところ、「電話を掛けるときに、代表番号を掛けて「内線の何番をお願いします」とよく言っていますよね」と。私自身はそれが普通だと思いましたが、「内線番号がわかるのであれば、そのまま電話を掛ければ、多分つながるんじゃないんですか」と更に言われました。いったい何を言いたいのかと思いついてみると、どうも今の学生は、携帯電話で特定された相手としか話したことがないというケースが非常に多く、一方で社内の代表番号に電話をかけて面識のない方とお話をするという経験がないことに気がつきました。部下である新社会人は、自分の経験とて今までのことにならなことに対応するのは、まさに理解できないという感じでしたが、社会人ともなれば、そういうわけにもいかず、いろいろなところで面識のない方や周りの方のお話も聞けるようになるのは当然のことです。

私自身、質問の内容もさることながら、面識のない方と話すことができないという事に、非常に驚いたのですが、そういう世代の方が学生に入ってきて勉強し、それを集めて、社会人の一員として入ってくるのが現実なのです。「ジェネレーションギャップ」という言葉はよく聞かれますが、私はまさにジェネレーションギャップを感じましたし、ギャップを感じたのは、初の経験でした。

私も同窓会では、卒業して既に15年以上経っておりまして、あざみ味ギャップがあるのだと認識しました。長年、突っ走ってきたつもりですが、今まで同窓会事業として決まっていたものはどう変えていけばいいのか、時宜に合った、大学に資するためにはどうすればいいのかについて、総会の場や、あと引き続く懇親会の場で、多くの方から意見を伺い、意見を頂かなければいけないと改めて思いました。ですから、こういう場を通じ、今後とも思惟のない意見をわれわれ執行部や事務局員から伺ってもらい、よりよい駿河台大学になるようにしたいと考えています。同窓会としてどの様にサポートしていくかについても、皆様とご議論できればと思います。

成田学長も様々な場面で活躍され、先日、民主党の峰崎議員を中心とした「参議院の在り方に関する勉強会」があり、その第一回の議事をされたと同様です。大谷学長の行動力を見習い、我々もどんどん変わっていかねばなりません。単なる手段や場所の問題のみではなく、せっかくのこのように、様々な方々と接する試みから、皆様と二層の交流が出来るかと思っております。

これからは皆様の協力が必要で、大学及び同窓会への支援をよろしくお願い申し上げます。

富岡勇哉同窓会会長からの挨拶

同窓会長の富岡です。本日はお忙しい中、皆様お集まりいただき、ありがとうございます。昨年の総会には、初めて学長に最初から最後まで、すべて出席してもらいました。同窓会として、学長が出席している中、年次の業務の報告や議論がしっかりと行なわれ、改めたいと思います。

今、駿河台大学は、来年から5学部体制になり、これから進化するために、変わらなければいけないという話が学長からありましたが、まさに、私がお話ししたと思っていたことと同じです。

私事で大変恐縮ですが、今年、大学を卒業し、国家公務員試験(受かつて役所に入ってきた、いわゆる新社会人)が、私の部下として業務に就きました。初めて社会人になり、当然いろいろとわからないことが多いです。非常にまじめで本心から、質問を聞いたり、先週「おつと質問があるんですが」と言ってきました。質問を聞いたところ、「電話を掛けるときに、代表番号を掛けて「内線の何番をお願いします」とよく言っていますよね」と。私自身はそれが普通だと思いましたが、「内線番号がわかるのであれば、そのまま電話を掛ければ、多分つながるんじゃないんですか」と更に言われました。いったい何を言いたいのかと思いついてみると、どうも今の学生は、携帯電話で特定された相手としか話したことがないというケースが非常に多く、一方で社内の代表番号に電話をかけて面識のない方とお話をするという経験がないことに気がつきました。部下である新社会人は、自分の経験とて今までのことにならなことに対応するのは、まさに理解できないという感じでしたが、社会人ともなれば、そういうわけにもいかず、いろいろなところで面識のない方や周りの方のお話も聞けるようになるのは当然のことです。

私自身、質問の内容もさることながら、面識のない方と話すことができないという事に、非常に驚いたのですが、そういう世代の方が学生に入ってきて勉強し、それを集めて、社会人の一員として入ってくるのが現実なのです。「ジェネレーションギャップ」という言葉はよく聞かれますが、私はまさにジェネレーションギャップを感じましたし、ギャップを感じたのは、初の経験でした。

私も同窓会では、卒業して既に15年以上経っておりまして、あざみ味ギャップがあるのだと認識しました。長年、突っ走ってきたつもりですが、今まで同窓会事業として決まっていたものはどう変えていけばいいのか、時宜に合った、大学に資するためにはどうすればいいのかについて、総会の場や、あと引き続く懇親会の場で、多くの方から意見を伺い、意見を頂かなければいけないと改めて思いました。ですから、こういう場を通じ、今後とも思惟のない意見をわれわれ執行部や事務局員から伺ってもらい、よりよい駿河台大学になるようにしたいと考えています。同窓会としてどの様にサポートしていくかについても、皆様とご議論できればと思います。

成田学長も様々な場面で活躍され、先日、民主党の峰崎議員を中心とした「参議院の在り方に関する勉強会」があり、その第一回の議事をされたと同様です。大谷学長の行動力を見習い、我々もどんどん変わっていかねばなりません。単なる手段や場所の問題のみではなく、せっかくのこのように、様々な方々と接する試みから、皆様と二層の交流が出来るかと思っております。

これからは皆様の協力が必要で、大学及び同窓会への支援をよろしくお願い申し上げます。

富岡勇哉同窓会会長からの挨拶

# 平成19年度決算報告書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部) (増減－は減を示す。単位：円)

勘定科目	19年度予算額	決算額	増減	備考
前年度繰越金	219,632,336	219,632,336	0	
会費	22,000,000	21,445,000	555,000	平成19年度納入分(5,000円×4,289名分)
総会懇親会費	0	0	0	総会懇親会参加費(1,000円×46名分)は橋本万里君に寄付
受取利息	200,000	507,473	-307,473	定期預金利息437,821円、普通預金利息69,652円
国債利息	0	420,274	-420,274	
収入の部合計	241,832,336	242,005,083	-172,747	

(支出の部) (増減－は減を示す。単位：円)

勘定科目	19年度予算額	決算額	増減	備考
事業費	7,800,000	3,939,537	3,860,463	
同窓会会報作成費	900,000	528,937	371,063	会報12・13号分、HP用PDF作成費等
大学への卒業寄付	1,000,000	987,000	13,000	平成18年度卒業生分
同窓会総会実施費	1,500,000	1,132,223	367,777	会場使用料・懇親会費・交通費等
ホームカミングデー実施費	1,500,000	913,377	586,623	講演会・懇親会経費等
地方支部会実施費	500,000	0	500,000	
同窓会奨学金	2,000,000	0	2,000,000	平成19年度該当者0名
ホームページ管理費	400,000	378,000	22,000	
運営事務費	3,450,000	2,582,635	867,365	
郵送料	3,000,000	2,343,144	656,856	同窓会報郵送料、総会出席はがき等の料金受取人払料金
印刷費	250,000	225,251	24,749	総会出席はがき・卒業生住所届はがき・封筒作成費
雑費	200,000	14,240	185,760	振込手数料等
橋本万里君に対する援助	1,000,000	1,000,000	0	
国債購入	0	100,400,000	-100,400,000	額面100,000,000円
予備費	5,000,000	0	5,000,000	
小計(当年度分計)	17,250,000	107,922,172	9,727,828	
次年度繰越金	224,582,336	134,082,911	90,499,425	
支出の部合計	241,832,336	242,005,083	-172,747	

# 平成20年度収支予算

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

駿河台大学同窓会

(収入の部) (増減－は減を示す。単位：円)

勘定科目	20年度予算額	19年度予算額	増減	備考
前年度繰越金	134,082,911	219,632,336	-85,549,425	前年国債100,000,000円購入
会費	20,500,000	22,000,000	-1,500,000	5,000円×4,100名分
受取利息	500,000	200,000	300,000	定期預金・普通預金利息
国債利息	1,040,000	0	1,040,000	
収入の部合計	156,122,911	241,832,336	-85,709,425	

(支出の部) (増減－は減を示す。単位：円)

勘定科目	20年度予算額	19年度予算額	増減	備考
事業費	7,800,000	7,800,000	0	
同窓会会報作成費	900,000	900,000	0	年2回発行(450,000円×2)
大学への卒業寄付	1,000,000	1,000,000	0	平成19年度卒業生分
同窓会総会実施費	1,500,000	1,500,000	0	会場使用料・懇親会費・交通費等
ホームカミングデー実施費	1,500,000	1,500,000	0	講演会・懇親会経費等
地方支部会実施費	500,000	500,000	0	
同窓会奨学金	2,000,000	2,000,000	0	20年度対象者1名(910,000円)
ホームページ管理費	400,000	400,000	0	
運営事務費	3,500,000	3,450,000	50,000	
郵送料	3,000,000	3,000,000	0	会報等2回発送(1,500,000×2回)・料金受取人払
印刷費	300,000	250,000	50,000	総会出席はがき・卒業生住所届はがき・封筒作成費
雑費	200,000	200,000	0	振込手数料等
橋本万里君に対する援助	0	1,000,000	-1,000,000	手術成功・復学
予備費	5,000,000	5,000,000	0	
小計	16,300,000	17,250,000	-950,000	
翌年度繰越金	138,782,911	224,582,336	-85,799,425	
支出の部合計	155,082,911	241,832,336	-86,749,425	

## 平成20年度 駿河台大学 同窓会活動項目

- 同窓会報の発行** (予算：90万円)  
同窓会報を年に2回、4月及び10月に作成し、会員全員に配布する。同時に同窓会総会やホームカミングデー等の案内を送付する。
- 大学への卒業寄付** (予算：100万円)  
平成19年度卒業生からの卒業寄付として、昨年度に引き続き、体育館ステージの照明機器を購入し、寄付を予定。
- 同窓会総会の開催** (予算：150万円)  
同窓会総会及び懇親会を5月17日(土)に明治記念館にて開催する。昨年同様、懇親会費を1人1,000円とし、その他の経費を同窓会が負担する。
- ホームカミングデーの実施** (予算：150万円)  
駿輝祭開催時に著名人を招いての講演会を実施する。併せて会員及び駿河台大学教職員を招いて懇親会を実施する。
- 地方支部会への援助** (予算：50万円)  
支部会組織を立ち上げようとする場合、総会・役員会の通知発送等を援助する。
- 同窓会奨学金の貸与** (予算：200万円)  
経済的困窮度が高く、大学の課程を終了が困難な学生に対し、奨学金を貸与する。人数及び金額は65万円×3名。
- 同窓会ホームページの管理** (予算：40万円)  
同窓会ホームページの内容更新し、充実させる。

## 平成20年度駿河台大学 同窓会役員のご紹介

役職	氏名	卒業年・学部
会長	富岡 勇哉	平成4年 法学部卒
副会長	桐生 岳	平成5年 法学部卒
	森沢 克啓	平成9年 法学部卒
	中島 俊夫	平成7年 法学部卒
会計	渡部 成人	平成9年 法学部卒
監査	長嶋 亮吉	平成7年 経済学部卒
	新井 克明	平成12年 文化情報学部卒
委員	廣瀬 尚	平成5年 法学部卒
	北島 健太郎	平成6年 法学部卒
	市川 紀子	平成7年 法学部卒
	奥原 晶子	平成9年 経済学部卒
	飯塚 小姫子	平成13年 文化情報学部卒
	三枝 桂子	平成18年 現代文化学部卒

以上、5月17日(土)に開催された同窓会総会にて承認されました。

## 新役員の紹介

### 市川紀子氏



平成7年駿河台大学法学部卒業。千葉大学大学院博士後期課程修了・博士(経済学)取得。平成18年4月駿河台大学経済学部専任講師に就任。現在、駿河台大学経済学部准教授。

- ・学生時代の主な活動：手話サークル
- ・学生時代の思い出：手話サークルに所属し、先輩や友人達とノートテイクを行ったり、手話通訳の勉強をしておりました。
- ・趣味：水泳

・メッセージ：このたび同窓会役員を務めさせて頂くことになりました市川紀子と申します。平成18年に設立20周年という節目を迎えました今、今後ますます母校の繁栄のために精一杯努力してまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

同窓会報第12号・13号でも掲載いたしました法学部在籍 橋本万里君が、昨年、アメリカでの心臓・肝臓同時移植の手術を終え、今年4月に復学いたしました。同窓生の皆様からはご寄付及び多大なる励ましをいただきました。ありがとうございました。



感謝を込めて  
法学部三年橋本万里 復学から約半年、去年の今頃、私はまだアメリカの病院にいました。いまこうして普通の生活を、毎日授業に出席し、法律相談部の部員としてサークル活動にも積極的に参加して、充実した日々を過ごしているのが夢のようです。ここまで元気になったのも、駿河台大学の皆様をはじめ、教えきれないほど多くのみなさまのご支援あつてのことです。本当にありがとうございます。

私は二〇〇六年度入学ですが、入学間もなく体調を崩してしまい、通学したのはわずか二週間ほどです。それにもかかわらず、翌年、渡米移植が必要となったとき、募金活動にいち早く協力してくださったのは駿河台大学の学生さん達でした。二月の厳しい寒さのなか、体育館で開かれた音楽コンサートで募金を呼びかけてくださった、ボランティアサークルの方々、募金活動を手伝ってくださった、先生方や職員の皆様、同窓会、父母会、互助会の皆様からも何度も何度もご支援いただきました。

長くアメリカで不安な日々を過ごしているとき、大きな楽しみの一つは駿河台大学のホームページを見ることでした。今、実際に大学生活を満喫できるようになったと思います。この感謝の気持ちをいつの日かしっかりと形にしなければならぬと思います。頑張ります。

# 「オーバーナイトウォーク'08」 そこに道があるから」

昨年度に引き続き、6月7日(土)～6月8日(日)にかけて、オーバーナイトウォークが開催されました。今年度は、「オーバーナイトウォーク'08」そこに道があるから」というテーマの下、学生、OB、教職員含め、総勢140名以上の参加者、お揃いのTシャツを身にまとい、駿河台大学を目指して歩きました。

今回、OBとしてオーバーナイトウォークに参加した岡部浩一さん(平成20年経済学部卒)のコメントをご紹介します。

## 平成20年経済学部卒 岡部浩一さん



正直、今年もオーバーナイトウォークに参加するとは思っていませんでした。私は、昨年、このイベントに携わり、今年卒業した同窓生です。大卒最後の年こそ、このイベントを開催させようという意気込みで友人と2人で

4年ぶりに復活させました。そして内心は、来年も続いてくれたらいいなと思っていました。それから早1年が過ぎ、春先に今年も開催すると聞き、非常にうれしく思いました。当日は、天候が心配されましたが、後輩たちの頑張りのおかげで届いたのか、奇跡的に雨は降りませんでした。そんな現役生の姿を見て、力をもらいました。それと同時に、昨年、開催に至るまで準備に奔走した時のことを思い出し、同窓生として現役生を盛り上げたいこうと思いました。

このイベントをムダだと思っ在生もいるかと思いますが、はじめから意味のないことだと諦めてしまうのではなく、踏破したらきっと自分の中で何か変化があると思います。参加するきっかけは何でもいいのです。そこで少しでも何かを感じ、そこから何かを学ぶことができたなら、それはきつとすばらしいことだと思います。そういったことを多くの学生に感じてもらいたいです。私が在学中にいろんな活動に携わって学んだ「今しか、



ゴール後の集合写真

大の伝統行事としてつなげていってほしいです。過去に参加された同窓生の方もいらっしやうと思いますが、ご都合がよければ、ぜひ参加してみたいかがでしょうか。その際は、翌日にお休みを取られることをお勧めします。

ここでしかない」ことに多く挑戦してほしいという、そんな願いも込め昨年、復活させたいと思いい行動しました。ただ一つ、昨年の参加と違っていたことは、今は社会人であるということです。月曜は、もちろん仕事があるわけで、そこに想像を超えた第2ラウンドがありました。きつと来年も、次の後輩たちが引き継いでくれると思うので、ここから、またこのイベントを駿

時間	通過地点
23:00	池袋西口公園 集合
0:00~	池袋西口公園 出発
1:00~	城北中央公園 (休憩)
2:00~	光が丘公園 (休憩)
2:10~	板橋区と和光市の県境
2:30~	広沢原公園 (休憩)
3:00~	青葉台公園 (休憩)
4:00~	野火止交差点
4:30~	新座市と清瀬市の県境
5:00~	清瀬市と所沢市の県境
5:00~	城山公園
6:00~	武蔵野線 東所沢駅 付近
7:00~8:00	航空記念公園 (休憩)
10:00~11:00	駿大ふれあいハウス(休憩)
13:00~14:00	駿河台大学 到着

# 駿河台スポーツニュース

## 平成20年春季大会の主な成績

クラブ名	大会名	成績
剣道部	第54回関東学生剣道選手権大会	半澤慎哉君 (法学部2年) ベスト4 (第3位) 志賀隆史君 (経済学部4年) ベスト16
	第56回全日本学生剣道選手権大会	半澤慎哉君 (法学部2年) ベスト32 志賀隆史君 (経済学部4年) ベスト32
	第40回関東女子学生剣道選手権大会	岡田愛さん (法学部2年) 28位以内 全国大会出場
女子ホッケー部	関東学生ホッケー春季リーグ戦	女子1部準優勝 (2位)
男子ホッケー部	関東学生ホッケー春季リーグ戦	男子1部 (7位) 入替戦1部残留
硬式野球部	東京新大野球連盟春季リーグ	2部3位 (6勝4敗)
カヌー部	第31回NHK杯全日本選抜カヌースラローム大会	矢澤一輝君 (文化情報学部2年) 男子K-1 優勝 (3連覇) 金谷徹君 (経済学部4年) 男子K-1 4位
	アジアカヌースラローム選手権大会	矢澤一輝君 (文化情報学部2年) 男子K-1 優勝 (3連覇)
	カヌースラロームジャパンカップ第2戦	海淵萌さん (現代化学部4年) 女子WK-1 優勝
陸上部	関東学生陸上競技対校選手権大会(関東インカレ)	田中直樹君 (文化情報学部3年) 2部 400m決勝8位
	埼玉県陸上選手権大会	4×400m決勝2位 関東陸上選手権出場権獲得

# 矢澤一輝君 北京オリンピック出場報告!!



矢澤一輝君と成田学長 北京オリンピックカヌー会場にて

6月3日(火)にタイから帰国した矢澤君は、成田学長に北京オリンピック出場を報告、北京出発に先駆けて7月30日(水)には、駿河台大学にて壮行会(同窓会・父母会後援)が盛大に開催されました。飯能市長、カヌー部藤野コーチ・OB・現役部員、教職員をはじめ、駆けつけた関係者から

駿河台大学生初の五輪選手としてカヌー部の矢澤一輝君(文化情報学部メディア情報学科2年)が北京オリンピックに出場しました。矢澤君は、5月17日(土)・18日(日)、タイで行われたカヌー・スラロームアジア選手権大会兼北京オリンピックアジア地区最終予選会において、K-1種目(男子カヤックシングル)で見事優勝し、アジア一枠のオリンピック出場切符を手に入れました。

熱い声援を受けた矢澤君は「北京ではメダルを獲りたい」という力強い宣言をしました。8月8日(金)には日本代表団の一員として、各競技代表選手と共に、開会式に参加しました。そして、北京オリンピック第4日目の8月11日(日)予選。各国21名の選手が出場する中、矢澤君は2番目のスタート。普段よりも格別真剣な表情でレースに臨みました。結果は、179秒87(1回目89秒82、2回目90秒05)の18位で、健闘及ばず惜しくも予選通過(15位まで)とはなりませんでしたが、しかし、同種目出場者の中で最年少の矢澤君は、百戦錬磨の各国代表選手に引けをとらない見事な戦いぶりです。今後の成長が大いに期待できるものでした。今回のオリンピック出場経験を基に、ワールドカップ、世界大会、4年後のロンドンオリンピックへと更に飛躍し、実力をつけることと思われま

※同窓会からは、父母会とともに壮行会の後援、矢澤君がオリンピックで使用するために新調したカヌーの製作費用やオリンピック強化合宿の費用など、さまざまな援助をいたしました。ここにこの報告いたします。

10月25日 (土)

# ホームカミングデー開催のお知らせ

今年も、駿輝祭開催に併せて、10月25日(土)にホームカミングデーを開催します。

ホームカミングデーは、卒業生の皆さんが気軽に母校を訪れ、出身学部・学科を越えて親睦を深めていただける場として、同窓会が企画しております。そして、懐かしいキャンパスで、恩師や教職員とも交流していただける機会です。今年で7回目を迎えるホームカミングデーですが、例年、お友達やご家族連れでご参加いただき、楽しいひと

時を過ごしていただいております。現在の大学の様子をご覧いただき、駿河台大学同窓会の活性化と、さらなる発展に寄与できればと考えております。

恒例となりました同窓会・父母会共催の講演会では、<sup>かくだのひろあき</sup>角田信朗氏の講演会を行います。講演会終了後は、会員の皆さんをお招きして懇親会を行いますので、お問い合わせの上、是非お越しください。

## ◆ホームカミングデー 角田信朗氏講演会



角田信朗氏の講演会を開催します。現在は、K-1ファイター・競技統括やレフエリーを務めているほか、タレント・俳優としても活動。

また、歌唱力にも定評がありサッカーや野球などの開幕式で国歌歌唱するなど活躍されています。

皆様のご来場をお待ちしています。

時間：13:00~14:30

場所：第二講義棟 7405教室

会費：無料

## ◆ホームカミングデー懇親会



時間：15:00~16:30

場所：第二講義棟15階

レセプションルーム

会費：無料

※当日は、飯能・元加治・金子駅から無料スクールバスが循環運行しておりますのでご利用ください。

お車でご来場の場合、駐車台数に限りがあり、大学近辺の駐車場をご案内する場合がありますので、予めご了承ください。

同窓会会員数 (年度別) (単位:人)				
卒業年度	男子	女子	合計	
1990年度	87生	234	48	282
1991年度	88生	272	37	309
1992年度	89生	246	71	317
1993年度	90生	500	101	601
1994年度	91生	701	164	865
1995年度	92生	742	148	890
1996年度	93生	714	164	878
1997年度	94生	1,006	281	1,287
1998年度	95生	860	314	1,174
1999年度	96生	863	286	1,149
2000年度	97生	873	331	1,204
2001年度	98生	887	346	1,233
2002年度	99生	952	300	1,252
2003年度	00生	875	315	1,190
2004年度	01生	815	302	1,117
2005年度	02生	806	311	1,117
2006年度	03生	817	327	1,144
2007年度	04生	705	286	991
合計	12,868	4,132	17,000	

### 大学からのお知らせ

#### 寄付金募集事業について

駿河台大学では、昨年度に引き続き教育環境の整備、奨学金の確保、教育・スポーツ関連施設、設備の拡充等を目的とした「教育振興資金」を確保するため、寄付金募集事業を実施いたします。

8月中旬頃から、卒業生の皆様に募金要項をお送りさせていただいておりますが、ご不明な点等ございましたら、下記までお問い合わせください。

なお、寄付者芳名を寄付者のご同意のもと、本誌『同窓会報』に掲載させていただきます。

＜お問い合わせ先＞

駿河台大学 財務課

TEL 042-972-1191 FAX 042-972-1139

URL <http://www.surugadai.ac.jp/>

mail [zaimu@surugadai.ac.jp](mailto:zaimu@surugadai.ac.jp)

## 卒業生は今

### 平成16年法学部卒

#### 宮澤 敬行さん



宮澤さんは平成16年法学部卒業後、福祉の勉強をするため専門学校に進学。その後、社会福祉法人飯能市社会福祉協議会に入職。本年6月28日および7月5日に開催された「ヤングボランティアスクール・カヌー体験（障害のある方対象のカヌー体験教室）」では、ハツツツとした元気な姿で、障がい者の方や中学生ボランティアへのご指導をなさっていました。卒業後も飯能で活躍されている宮澤さんにお話を伺いたく、ボランティア活動を希望する学生4名と共に宮澤さんが勤務されている飯能市社会福祉協議会を訪ねました。

＊(飯能市社会福祉協議会主催。本学は、カヌー部や障がい者の介助を学生ボランティアが協力しています。)

#### ●社会福祉協議会とは

「誰もが安心して生活できるまち」を市民のみなさんと協力してつくるのが、社会福祉協議会の仕事です。

#### ●社会福祉協議会への入職のきっかけ

大学在学中、教職の実習で老人介護施設に行き、このような世界もあったのかと強く感じて、福祉の勉強をしたいと思うようになり進学をしました。そこで、社会福祉協議会を知り、仕事をしたいと思つたことがきっかけです。

#### ●現在の担当業務は

ボランティアを募集したい、ボランティアをやりたいという双方への支援・調整が主な業務です。また、小中学校から福祉教育の依頼を受けることもあります。その際には、車椅子に乗ってもらうなど実際に体験し、支援を受ける人と同じ気持ちになつてもらうことを心がけています。また、「隣の席の人に消しゴムを貸すだけでもボランティアになるんだよ」とよく話しています。ボランティアはかしまつてするものではなく、普段の生活の中で、簡単に見つけ

られるものなんです。ボランティアは、「対人」の仕事です。人と向き合つて仕事ができるのが素敵だと自分自身感じています。

#### ●ボランティアで難しいこと、大切なことは

個人的には、何でも楽しんで活動しようという気持ちがあるので、難しいと感じることはないのですが、相手に合わせるということを常に考えています。

ボランティアで何より大切なことは、相手に対して「やっつけてあげる」という気持ちではなくて、「させていただく」という気持ちを持つことです。そうすれば、何をやっても相手に喜ばれるはずですからね。また、どんな小さなことでも目標を立てて、振り返ることが大切ですね。

#### ●大学在学中からボランティアに参加されていたのですか。

はい。思い出に残っている活動は、知的な障がいのある女性の付き添いです。困っている人がいるからやってみようという軽い気持ちではじめたのです。女性の住む埼玉県北部から、その方の祖母がいらっしゃる飯能市内の老人介護施設までの付き添いで、何度かの付き添い後は、最終的に、その女性が一人で電車で乗り、飯能までの往復をできるようにするという目的の活動でした。最初の日、切符の買い方や乗り換えのお手伝いをして、無事に飯能に到着し、その女性は、祖母と会うことができました。レストランで楽しそうに食事をしている二人の様子を外から眺めた時、とても嬉しく感じました。今でもとても印象深いボランティア活動です。その時、気軽に、早く一人で祖母に会いに行けるようになったらいいなと心底思いましたね。

#### ●学生時代の思い出は

学生時代は、ボランティア一本というものではなかったです。野球サークルにも入っていましたし、ゼミの先生とよく飲みに行ったことが印象に残っています。

宮澤さんは終始笑顔で、非常に分かりやすくお話をしてくださり、学生からの質問に対しても優しく答えていただきました。「ボランティアってなんだろう?」と考えていた学生にとつて、今後のボランティア活動への励みとなりました。宮澤さんへは、引き続き、学生のボランティア活動についてのご支援をいただきます。宮澤さんの笑顔が、今も私たちの心を温かくしてくださっています。